

アレルギー・膠原病疾患

科目責任者 池田 啓
学年 6 学年

I. 前 文

本講義では、アレルギー疾患およびリウマチ膠原病における重要事項の講義を行う。既に系統講義・実習で履修していることを踏まえ、国家試験対策となる再確認と地固めを行う。

II. 担当教員

教 授 池 田 啓 内科学 (リウマチ・膠原病)
学内教授 清 水 泰 生 内科学 (呼吸器・アレルギー)
准 教 授 前 澤 玲 華 内科学 (リウマチ・膠原病)
助 教 中 村 祐 介 内科学 (呼吸器・アレルギー)

III. 学修の到達目標

講義や実習で履修したアレルギー・膠原病学の知識を整理し、成因、病態、検査、治療、予後などを総合的に理解して、医師国家試験に出題される一般問題、臨床問題に正答できる学力を修得する。

IV. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習 (アレルギー60分, 膠原病60分)

3年時のアレルギー・膠原病領域の系統講義の資料に目を通し、知識を整理し、不明の項目は教科書や参考書で確認する。

事後学習 (アレルギー60分, 膠原病60分)

アレルギー・膠原病領域の過去の一次卒業試験問題や医師国家試験問題などを参照し、知識を整理する。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	7	16	木	1	アレルギー疾患のまとめ (2)	中 村 祐 介	1
2		16	木	2	膠原病のまとめ (1)	池 田 啓	1
3		17	金	4	膠原病のまとめ (2)	前 澤 玲 華	1
4		23	木	7	アレルギー疾患のまとめ (1)	清 水 泰 生	1

VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

医師国家試験形式の試験により評価する。原則として60%以上を正答したものを合格とする。

VII. 医師国家試験出題基準 (令和6年版)

各論 (XIアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫病) -1 (アレルギー性疾患), -2 (膠原病と類縁疾患)

VIII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

IX. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題について、間違いや誤解が多い点を随時解説する。

質問のある場合は、リウマチ・膠原病内科秘書へ連絡すること。